

実績を未来にたくす

始動！

横尾俊彦市長 4期目の舵取り

拍手と花束を贈る職員らに出迎えられ初登庁する横尾市長（9/17）

任期満了に伴う多久市長選挙は8月23日に告示され、横尾俊彦現市長以外に立候補の届出がなく、無投票での当選となりました。平成9年の初当選以来、4期目となる市政の舵取りにあたり、横尾市長が決意と抱負を申し上げます。

このたび、引き続き市長職に就任させていただくことになりました。市民の皆様への信頼を受けて担うこの職責の大きさを改めて実感しております。

これまで「初心忘れず」の心構えで課題に取り組んで参りましたが、これからも「希望と勇気」を持ち、市政発展に力を尽くす所存ですので、皆様のご理解ご支援をお願いいたします。

さて、昨秋の米国の金融経済破綻によりわが国経済は「百年に一度」の苦境に直面することになり、影響は地方にも自治体財政にも及んでいます。

ここで肝心なことは、未来への希望を失わず、できることを創意工夫して未来を拓くことです。「我々が未来を拓く」という気概でこの難局に臨み、これまでの経験や培った人脈をフル活用して多久市政運営に尽力します。

時あたかも国政における政権交代の時期と重なり、政治行政が今後いかに変化するかの不透明さがありますが、地方実情を伝え、地域努力を活かす提案も行い、新たな日本と地域の未来を拓くべく努力する所存であります。

四期目となる市政では、マンネリや澁みのない市政をさらに確立します。

そのため、日々「三省」し、「日に日に新たな」努力を積み重ねるとともに、「志とアンテナは高く、頭と目線は低く」を心がけて臨みます。現在も内閣府の地方分権改革推進委員（首相の任命）や佐賀県市長会長等を務めておりますが、その任務を遂行しつつ、市政発展へ活かせるよう努力します。

業務遂行では「スピード・スマート・スマイル」で、さらに市民に役立つ市役所づくりを進めます。皆様から激励や評価の言葉を賜われることができるよう「チーム市役所」を向上させます。

特に、安心安全と危機管理、市民健康支援、経済・雇用・定住策の充実、小中一貫教育で教育向上等に力を注ぎます。そして「健康は全ての基本」であり、現在も新型インフルエンザ拡大が懸念されますので、「うがい・手洗い」の習慣化の徹底をお願いします。

今後は新政権のもと、地方分権改革等の改革が進められ、地域の未来を自分たちで構想して創造する取組みも可能になるはずで、そこでは一人ひとりの自立心や協力が重要になります。その意味でも市民の皆様各般にわたるご理解とご支援をお願いいたします。



就任のごあいさつ

日に日に新たな努力

多久市長 横尾俊彦